

リコー販売株式会社山梨支社

◆テーマ エネルギー消費実態に基づく管理手引きの策定

◆事業概要・目的

エネルギー消費実態に基づくエネルギー管理手引きを小学生が作成することにより、省エネ教育を小学生に行う。太陽光パネルの導入を見据えたサステナビリティの省エネ学校を作ること目標とする。

◆検討体制：「検討委員会」

- | | |
|------------|---------------|
| ・ 有識者 3名 | ・ 教育委員会関係者 1名 |
| ・ 学校関係者 2名 | ・ その他 3名 |

◆検討方法

①山梨県中央市立豊富小学校5年生児童による「エコノート」を利用したエネルギー消費実態調査

学校と家庭の電気、ガス、水道の使用量と金額をチェックするエコノートを導入し、リコーが省エネについてアドバイスする。

②同校5年生児童による「環境マニュアル」作り(エネルギー管理手引き)

エコノートを利用した消費実態調査結果を元に、ゴミ分別、電気、水道、ガスの省エネ、自然との共存について行動視点を「環境マニュアル」にまとめる。

◆具体的な対応方策

●エネルギー消費実態把握について

小学校及び児童の家庭におけるエネルギー消費実態を、チャレンジエコノート表を使い調査すると共に、エコ活動学習会にて学んだ事をヒントにして、家族と協力して省エネチャレンジしていく活動を展開した。

●環境保全活動取り組みの実施

- ・山梨県中央市立豊富小学校において、学校のエネルギー消費実態を把握するため調査を生徒と共同で行った。
- ・山梨県中央市立豊富小学校5年生を「ViCreA Satellite 甲府」にて、エコ活動学習会を開催し、環境負荷低減実践活動の見学と生物多様性保全のWeb学習、エコ活動実践に向けた学習を行った。
- ・学校と家庭の電気、ガス、水道の使用量と金額をチェックするエコノートを導入。

●エネルギー管理手引きの策定

管理手引き「私たちの省エネ☆大作戦」を作成した。

◆今後の展開

活動を通じ、現在社会問題になっている環境問題に対する、「環境負荷低減の心」を醸成するよい機会となった。

また、今後の課題として以下が挙げられた。

① 消費実態記録の指導方法の改善

児童により消費実態記録データの記入ミスや記入忘れなど、対象者全員統一したデータ収集が出来なかった。

② 効果の確認指標の設定

省エネチャレンジの取組による効果(CO2 排出量の削減等)が消費実態記録の数値データで検証できなかった。

③ キッズ ISO チャレンジへの検討

山梨県下の小中学校としては、現在キッズ ISO 認証取得は2校と少ない状況である。今回のエコ活動により醸成されてきた、児童、職員の「環境負荷低減の心」をより育む方向として、キッズ ISO チャレンジを提案。